





社名	株式会社 ドローンWORKシステム
設立	2018年5月
本社	福島県いわき市常磐関船町1-10-14
工場	福島県いわき市内郷高野町川平50-1

事業内容

機体開発・製造



運搬サービス



操縦技能



経営理念

挑戦と融合で人の役に立つ豊かな暮らしを創造する

経営指針

- 1 ものづくり”無から有へ”を念頭に常に挑み続け創造します
- 2 顧客の立場で暮らしを半歩進める技術とサービスを提供します
- 3 社員の幸福・家族の幸福・社会の幸福に貢献出来る会社へ思いやりの気持ちで取り組みます

2022年 5月 2日 代表取締役 手島 朋広

品質方針

- 1 当社取扱い商品・サービスに於いて顧客品質の改善、顧客満足度の向上に努めます
- 2 当社取扱い商品、サービスの納期短縮、生産性向上、コスト改善に努めます
- 3 お客様からの要求事項、適用される法令、関連するガイドライン等の社会的規範を遵守します
- 4 品質方針を全従業員が理解し実行できる様に各所に掲示し周知徹底を図ります
- 5 品質マネジメントシステム運用の有効性、適切性を持続するために定期的にレビューし継続的な改善をします

2022年 5月 2日 代表取締役 手島 朋広



製造工程



修理工程



屋内教習エリア



屋外教習エリア



ドローン国家資格

無人航空機操縦士（一等/二等登録
講習機関 基本・目視外・夜間・
25kg以上のすべて）



受講数：255名
(2023年10月から)

DPA（日本ドローン操縦士協会）

民間ドローンライセンス
回転翼スペシャリストなど
無人航空機操縦士



受講数：583名

NIST sUAV-STM Test Site



受講数：21名

EAGLE-XX運用検定

EAGLE-TeamOperateCertification(略称E-
TOC)



受講数：25名

～E-TOCとは～

EAGLEシリーズを用いて

重量物資材のドローンによる搬送業務に従事する
にあたり、業務従事者が身につけなければならない技能、知識を習得する為のカリキュラム
弊社製造ドローン（EAGLE）の操縦士育成には
必須の検定となる。

～NIST sUAV-STM とは～

米国標準技術研究所（NIST）が提唱する
バケツを用いた簡易なシステムにより、
ドローンの飛行性能を定量的に試験する事が可
能。

国際レスキュー連盟（IRS）理事である長岡技術
科学大学 木村哲也教授のもと、日本国内で最初
の認証をドローンWORKシステムが取得。

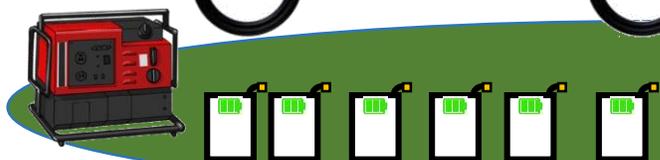
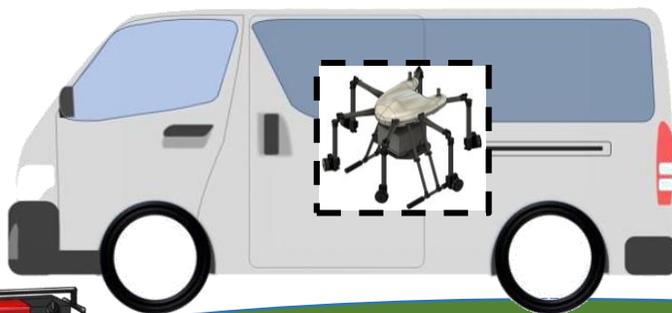
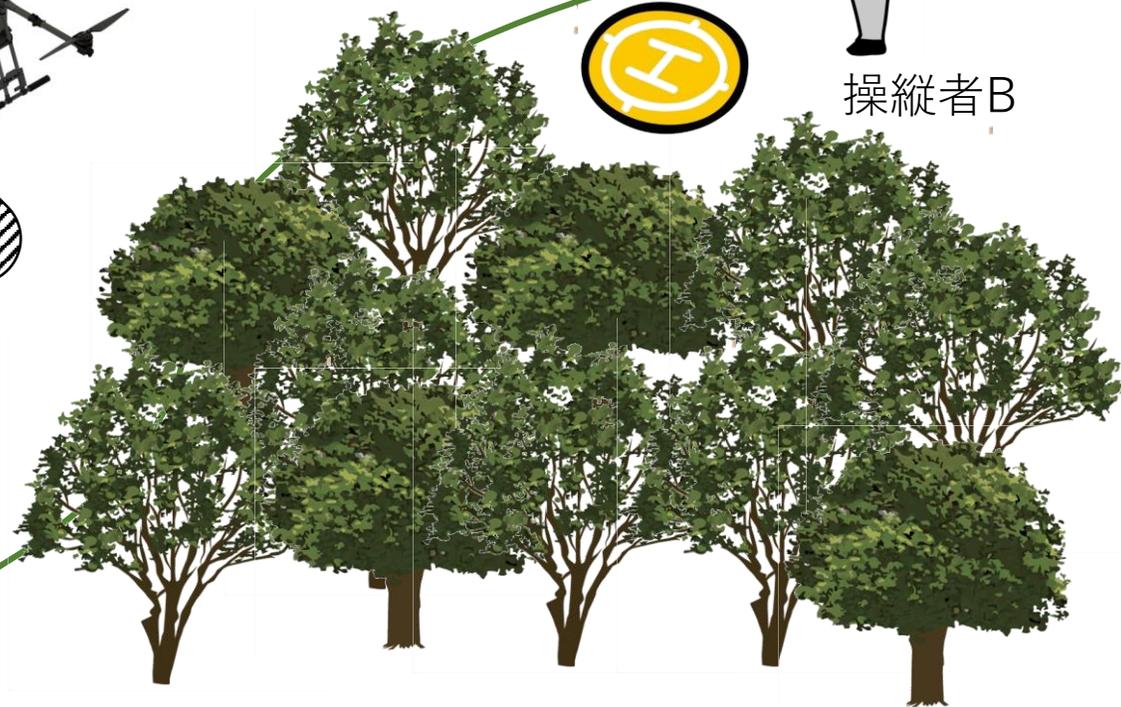
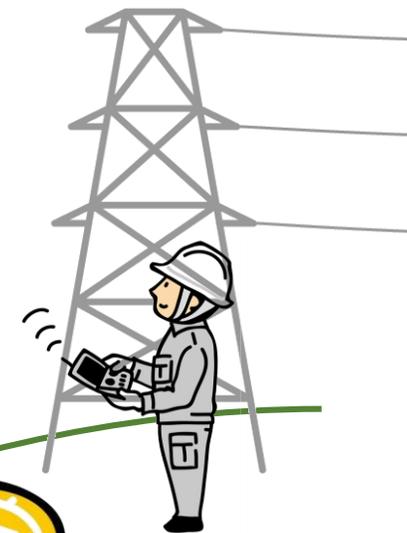


【重量物運搬業務イメージ図】

安定した運航の実現のため、目視内飛行及び操縦者2名によるマニュアル操作を実施。

【運航手順】

- ① 操縦者は荷上地点と荷下地点に各1名配置。
- ② 荷上地点の操縦者Aが離陸。
- ③ 両者が目視可能な中間地点でホバリング待機。
- ④ 無線にて操縦者をA⇒Bへ交代。
- ⑤ 荷下地点にて操縦者Bが荷物を切離し。
- ⑥ 再度中間地点まで飛行し、ホバリング待機。
- ⑦ 再度操縦者をB⇒Aへ交代し、機体を着陸。





令和5年の福島県実用化補助事業にて、
水素燃料電池システムを用いた大型ドローンの
実証試験を行った。

令和6年2月に福島ロボットテストフィールドにて
飛行試験を行い飛行に成功した。





農業WEEK・ドローンサミット・Japanドローン等各種展示会



災害時におけるSPOT(犬型ロボット)の搬送実験



自衛隊富士学校 ドローン搬送デモ参加



宮城県災害訓練 ・ いわき市常磐消防署 搬送デモ

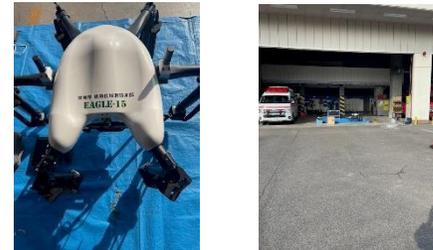


各種機体開発

- ・福島三技協様 風力発電風車点検機
- ・仙南地域広域消防本部様 各種カメラ内蔵搬送機
- ・実用化補助金 災害時放水機



鳥取県危機対策課様
宮城県仙南地域広域消防本部様
EAGLE納品



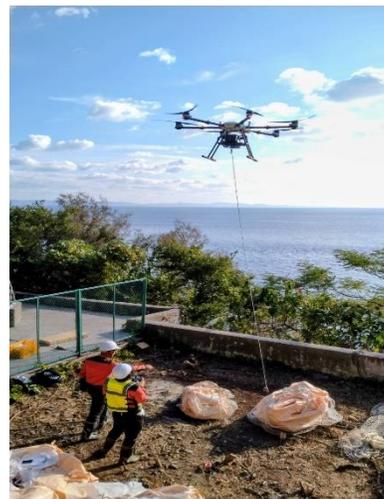
ドローン国家ライセンス国土交通省登録講習機関
NIST sUAV-STM認定事業

古河電エグループ 古河産業(株)との各種搬送事業

●貨物船等への洋上物資搬送



●島部や山間部高圧電線鉄塔付近への重量物搬送



ご清聴ありがとうございました。